

見学又は対面前にブリーダーに絶対聞いておきたい質問

ブリーダーからの購入を考えている方は、実際に、施設を見学する前に、電話やメール等で以下のことをブリーダーに確認することをお勧めします。

また、実際にお伺いした時、子犬・子猫との対面前にお聞きしてもよいでしょう。

子犬・子猫の両親のこと、誕生した場所や飼育している場所、最低限の疾病予防などの情報は、ブリーダーが飼育している動物を大切にしているかどうかを知る一助になります。

パート1：ブリーダーの飼養環境を確かめる質問

- 子犬・子猫はブリーダーの自宅(施設)で産ませた子ですか？
- 子犬・子猫は産まれた場所で母親や兄弟と一緒に飼育されていますか？
飼育されている場所で、母親や兄弟も一緒に面会できるか尋ねましょう。
- 子犬・子猫の父親も自宅(施設)にいますか？
父親がいる場合は、面会させてもらえるか尋ねましょう。もし、その場所にいない場合でも、父親の飼育されている場所、健康状態や性格、他に繁殖した子はいないか等たくさん的情報を教えてもらいましょう。
- 子犬・子猫の健康に問題はないですか？母親にも健康問題はないですか？
- また、両親は遺伝性疾患をもっていないですか？
特定の品種において遺伝性疾患があります。
命に係わるケースや強い痛みを伴うケースがあり、治療にも非常にお金がかかることがあります。
- 子犬・子猫は外内部寄生虫(バや回虫など)などの予防・治療をされていますか？
- 最初の予防接種はされていますか？または接種する予定はありますか？
- 子犬・子猫にはマイクロチップは装着又は予定はありますか？
※2022年6月から販売する犬猫へのマイクロチップ装着・登録が義務化されます。
- スタッフ何人で何頭の動物を世話していますか？
※第一種動物取扱業者は2024年6月までに、第二種動物取扱業者は2025年6月までにスタッフ一名あたり、上限で犬20頭(繁殖用15頭)、猫30頭(繁殖用20頭)にするように法律で決められています。

パート2：あなたのライフスタイルや家の環境に子犬・子猫があうか確かめる質問

特に、あまり人や他の犬や猫との接触がなく刺激のない静かな環境で育った子犬子猫を迎え入れる時は新たな刺激に対して不安や恐怖を感じないようにする配慮が必要です。

- ブリーダーの住居のある環境は静かですか？それとも賑やかですか？
 - ・車や人通りの少ない閑静な場所でしょうか？
 - ・車、電車や飛行機などの音、子どもの声など賑やかな場所でしょうか？
- 子犬・子猫はブリーダーの自宅(施設)内のどこのような部屋で育てられていますか？
 - ・比較的静かな部屋でしょうか？
 - ・人の出入りが多い場所や生活音の激しい部屋でしょうか？
- 老若男女問わず幅広い年齢層の人達とふれあえる機会をあたえられていますか？
 - ・特にあなたに小さなお子さんがいる場合、この質問は重要です。
- 子犬・子猫と定期的に関係をもっている人は何人程度でしょうか？また、ふれあい時間は一日どのくらいでしょうか？
 - ・ご飯の時間など、特定の決まった時間だけ接触する程度でしょうか？
 - ・日中、適度に色々な人とふれあっているでしょうか？

最後に、対応したブリーダーの印象はいかがでしたか？誠実でしたか？それとも不信感を抱きましたか？契約相手は、ブリーダーです。ブリーダーの印象も大切にしてください。